

WWF ジャパンからの課題

テーマ：サステナブルなファッション

クライアントからのメッセージ

「SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)」や、「サステナビリティ」という言葉は近年、皆さんにとっても身近になってきているかと思います。

WWF は長く、環境保全を通してこのサステナビリティに関わってきましたが、近年はとくに、企業活動による環境への負荷低減が、取り組みの重要な柱になっています。この取り組みの中で色々な企業の方々と連携をしていますが、今回は、「ファッション産業のサステナビリティ」をテーマにしました。

皆さんの中にもファッションが好きな方は多いかと思いますが、ファッション産業には、国連を始めとしたステークホルダーから、さまざまな環境、社会課題が指摘されています。

この解決策の一つに「認証制度」があります。繊維産に関する認証制度は、環境や人権などにきちんと配慮したコットンなど原材料の生産や製品を「認証」し、それを証明するものです。また、認証独自のラベルをつけることで、消費者にも一目でそれが、環境や人権に配慮したものであることがわかる仕組みです。繊維産業では「GOTS 認証」「OCS 認証」が、国際的にも信頼のあるオーガニック繊維製品の認証として知られています。

ただし、これらの認証制度は日本国内ではまだまだ認知度が低いのが現状です。そしてこれは、作り手側であるファッションブランドが、認証制度の採用を躊躇する原因の一つになっています。ファッションブランドは、「いかにサステナビリティにとって重要であっても、買い手側である消費者に価値が認知されていないものは作れない」との考えを持っています。

このため、この「認証制度の価値を、消費者に向けて広める」ことが必要であり、皆さんのクリエイティブの力をお借りしたいと考えています。

今回のテーマは、皆さんにも身近な産品であるファッション、とくに「コットン製品」のサステナビリティです。

作品の制作時に以下の点を考慮してください。

- **コットン製品の生産に関わる、環境、社会課題について理解してください**
- **課題を理解しつつ、メッセージはできる限り「ポジティブ」な表現にしてください**

※具体的な課題については後述します

制作物規定

●Instagram投稿（1：1、1080×1080ピクセル）

●ポスター（A2 サイズ、縦）

※A3 で出力しても読めるフォントサイズを確保してください

制作物を使うシチュエーション

●Instagram投稿

Instagram投稿使用（広告として利用する可能性あり。対象は個人）

投稿先 URL：<https://www.instagram.com/wwfjapan/>

●ポスター

サステナブルなファッションの啓発イベント等で使用

（対象は個人ならびに法人・団体）

必須項目

●団体名称①：公益財団法人世界自然保護基金ジャパン

●ロゴ：WWF ロゴ

●キャッチコピー：自然と生きもの、人を守る服づくりがあります

●「ロゴの使用規定」を参照してください

●団体名称②：Global Organic Textile Standard

●ロゴ：GOTS ロゴ

●キャッチコピー：GOTS ラベルは、オーガニック繊維が、サステナブルに製造加工されたことを示しています

●「ロゴの使用規定」を参照してください

ロゴの使用規定

【WWF ロゴ】



- ロゴの著作権はWWF インターナショナルに帰属します。
- ロゴは横幅の 4 分の 1 の長さの余白を四方にとってください。 (* 1)
- ロゴは横幅 10mm 以下のサイズにはしないでください。 (* 2)
- ロゴを掲載する同じ紙面上に、以下のクレジットを必ず明記してください。
文字の級数は判読可能な範囲で小さくしていただいて構いません。
縦置きも可です。
- クレジット
WWF® and ©1986 Panda Symbol are owned by WWF.
All rights reserved.
- 本依頼書に記載された使用目的以外には使用しないでください。
- ロゴの画像データは、制作に必要な期間が過ぎたら、保存していた全てのメディアから削除してください。

【GOTS ロゴ】



- ロゴの著作権はグローバル・スタンダード非営利活動有限会社に帰属します。
- ロゴは、グローバル・スタンダード非営利活動有限会社の許諾を得た組織に限り使用が可能なため、本企画（アドビ認定プロフェッショナル世界学生大会 2025）以外に使用しないでください。
- ロゴの画像データは、制作に必要な期間が過ぎたら、保存していた全てのメディアから削除してください。
- ロゴの寸法は、Global Organic Textile Standard GOTS の文字を含み、直径 1 cm にしないものとします。
- Global Organic Textile Standard GOTS のテキスト、書体は、いかなる方法でも変更することはできません。
- ロゴの縦横比は、いかなる場合でも変更することはできません。
- ロゴの仕様
 - ・ 書体 : Frutiger Next Bold
 - ・ Global Organic Textile Standard GOTS のテキスト部分の背景 : 100%ホワイトまたは透明 ※透明の場合は、十分な視認性確保が必須
 - ・ シャツのイラスト部分の色 : 100%ホワイト
 - ・ 円部分の色 :
 - C 80% : M 0% : Y 100% : B 2% または
 - Pantone 362C または
 - HKS 60N

写真素材・写真の説明

- 提供する写真素材は、本依頼書に記載された使用目的以外には使用しないでください。
- 写真素材は、制作に必要な期間が過ぎたら、保存していた全てのメディアから削除してください。

写真①：開花した綿花



使用時にはクレジット「© Charlotta Järnmark / WWF-Sweden」を入れてください。

写真②：開花した綿花（拡大）



使用時にはクレジット「© Charlotta Järnmark / WWF-Sweden」を入れてください。

写真③：綿花栽培の従事者



使用時にはクレジット「© Asim Hafeez / WWF-UK」を入れてください。

写真④：綿花への農薬散布



使用時にはクレジット「© Asim Hafeez / WWF-UK」を入れてください。

写真⑤：繊維から糸にする紡績工程



使用時にはクレジット「© Asim Hafeez / WWF-UK」を入れてください。

写真⑥：綿花から種を取り除くジニングの工程



使用時にはクレジット「© Asim Hafeez / WWF-UK」を入れてください。

キャッチコピー

メインコピー

- 自然と生きもの、人を守る服づくりがあります ※表現の微調整可

サブコピー（①と②-1 または②-2 の 2 点を使用してください）

①ファッション業界は、気候変動と生態系の危機に大きく影響をあたえる産業のひとつです。「国連環境計画」

※アイコンを制作、写真素材を使用しても OK

②-1：GOTS ラベルは、オーガニック繊維が、サステナブルに製造加工されたことを示しています。

②-2：GOTS ラベルは、オーガニック生産された繊維が、全ての工程においてサステナブルな製造加工をされたことを示しています。

コピーのストーリーは以下を参照ください。

メインコピー：「サステナブルなファッション」の定義と、その啓発が目的

サブコピー①：ファッション産業と環境、社会課題についてのファクトの提示

サブコピー②：ファッション産業の課題解決策の提示

1、テーマ依頼の背景

WWFは環境への負荷を低減させるため、企業に対して、「サステナブルなサプライチェーン（生産・製造・調達）の構築」を求めています。

信頼ある国際認証制度は、この「サステナブルなサプライチェーン」を通して作られた商品であることを示す仕組みで、WWFはこの拡大に取り組んでいます。

① サステナブルな生産、製造、調達

（例）

- ・サステナブルな生産：農業、林業、漁業など、一次産業を中心としたサステナブルな生産
- ・サステナブルな製造：主に、工場におけるサステナブルな製造、加工
- ・サステナブルな調達：小売り、メーカー、ブランドなどによる、サステナビリティに配慮された調達（購買）

② トレーサビリティ：

- ・原材料を生産する農場から、工場、倉庫など、工程における、全ての拠点でのモノと書類での分別管理・記録
- ・全ての拠点の、分別管理方法に関する第三者の監査を受ける

③ 商品への認証取得製品である旨の掲示

- ・商品本体、またはパッケージに、「認証取得商品」である旨のラベルの掲出

④ 人権、労働衛生への配慮

- ・生産従事者への、人権の尊重、労働衛生環境の確保など（認証により異なります）

つまり認証制度は、サプライチェーン上の全ての生産拠点が、サステナブルなモノづくりをしたことを示すために、有効な手段です。

2、日本国内での認証制度の現状

認証制度の有用性が世界的に認められ、採用されている一方で、日本国内での認証制度はあまり知られていないのが現状です。とくに消費者の認証制度の認知度は低いことが、企業が認証制度の採用に前向きになれない要因の一つになっています。

3、繊維産業による環境負荷

繊維産業に対しては、以下の環境負荷が指摘されています。

- ・綿花栽培時の、大量の水使用（とくに、水が豊かでないエリアでの大量の水使用による、濁水など地域への影響）
- ・綿花栽培時の、大量の農薬、殺虫剤などの使用
- ・染色を始めとした製造工程における、大量の水使用
- ・染色を始めとした製造工程における、大量の化学薬品の使用と、その自然への流出による環境の汚染
- ・生地染色、安定の工程や、材料、製品の輸送時に発生するエネルギー使用と、二酸化炭素排出
- ・奴隷労働、強制労働、児童労働、低賃金、危険な労働環境などの人権問題
- ・大量消費、大量廃棄

【参考資料】

コットンって環境に悪い？サステナブルファッション視点でのコットンの生産と利用

<https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/4580.html>

水環境保全：中国における繊維生産改善プロジェクト

<https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/4531.html>

4、コットン製品に関する認証制度：GOTS 認証

WWF ジャパンは、繊維の中でも、コットン製品の生産・製造加工から生じる環境負荷低減に取り組んでいます。

この環境負荷低減の一つの解決策が、GOTS（Global Organic Textile Standard）認証です。

GOTS 認証は主に、以下の基準で構成されています。

- ・70%以上の認証されたオーガニック繊維が使用された製品
- ・全ての生産、製造拠点におけるトレーサビリティ
- ・全ての生産、製造拠点における、非オーガニック素材との混紡を避けるための分別管理
- ・環境の汚染、作業従事者の健康被害を避けるため、使用する全ての薬剤（染料、漂白剤など）を事前承認
- ・安全で衛生的で差別のない労働環境、公平な報酬など、従事者の人権への配慮
- ・認証制度に沿った生産をされた旨を示す、商品またはパッケージへのラベルの添付

【参考資料】

GOTS 認証に関する Q&A よくあるご質問

https://global-standard.org/images/QA_%E6%97%A5%E6%9C%AC%E8%AA%9E%E7%89%88.pdf

以上